

シンポジウム

「感染症対策の未来」

長崎大学の感染症教育研究拠点 設置に向けたこれまでの取組み

平成28年10月10日

長崎大学 副学長・学長特別補佐
調 漸

BSL-4施設設置に向けた長崎大学の取組み

- 2006～
2008年度 国立感染症研究所、北海道大学、東京大学等とともに、内閣府のBSL-4施設を必要とする新興感染症対策に関する調査研究に参画。
- 2010年5月 BSL-4施設設置の検討を開始することを学長メッセージとして公表。
- 2012年7月 BSL-4施設の坂本キャンパス設置計画に関する基本的考え方を学長メッセージとして公表。
- 2014年1月 北海道大学、東京大学など国内有数の感染症研究機関とで、感染症研究のコンソーシアムを結成し、長崎大学をBSL-4施設の設置候補とすることを決定。
- 2014年2月 「マスタープラン」決定（日本学術会議）
重点大型研究計画「高度安全実験（BSL-4）施設を中核とした感染症研究拠点の形成」
- 2014年8月 「ロードマップ」決定（文部科学省 科学技術・学術審議会）
「高度安全実験（BSL-4）施設を中核とした感染症研究拠点の形成」

地元議会への請願・要望・地元自治体との基本協定

1. 長崎市議会への請願

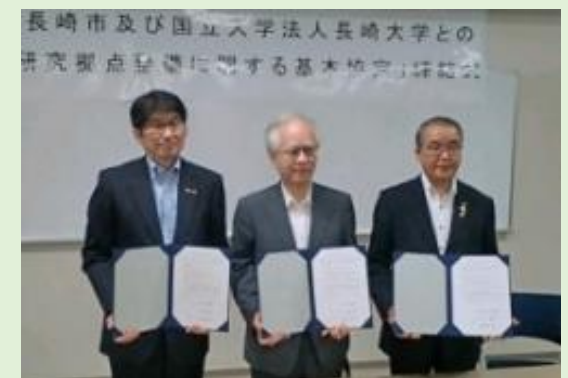
- 2014年12月 1日 長崎市議会議長へ「長崎大学における感染症研究拠点の早期整備を求める請願書」を提出
- 2014年12月 5日 総務委員会で請願可決(参考人招致)
- 2014年12月12日 長崎市議会本会議で採決
賛成36、反対2、退席1

2. 長崎県議会への要望(陳情)

- 2014年12月 1日 長崎県議会議長へ「長崎大学における感染症研究拠点の早期整備を求める要望書」を提出
- 2014年12月10日 文教厚生委員会で要望書聴取(参考人招致)
- 2014年12月18日 長崎県議会本会議で議会から知事への意見書(動議)について採決
賛成41、反対1、退席1、欠席1

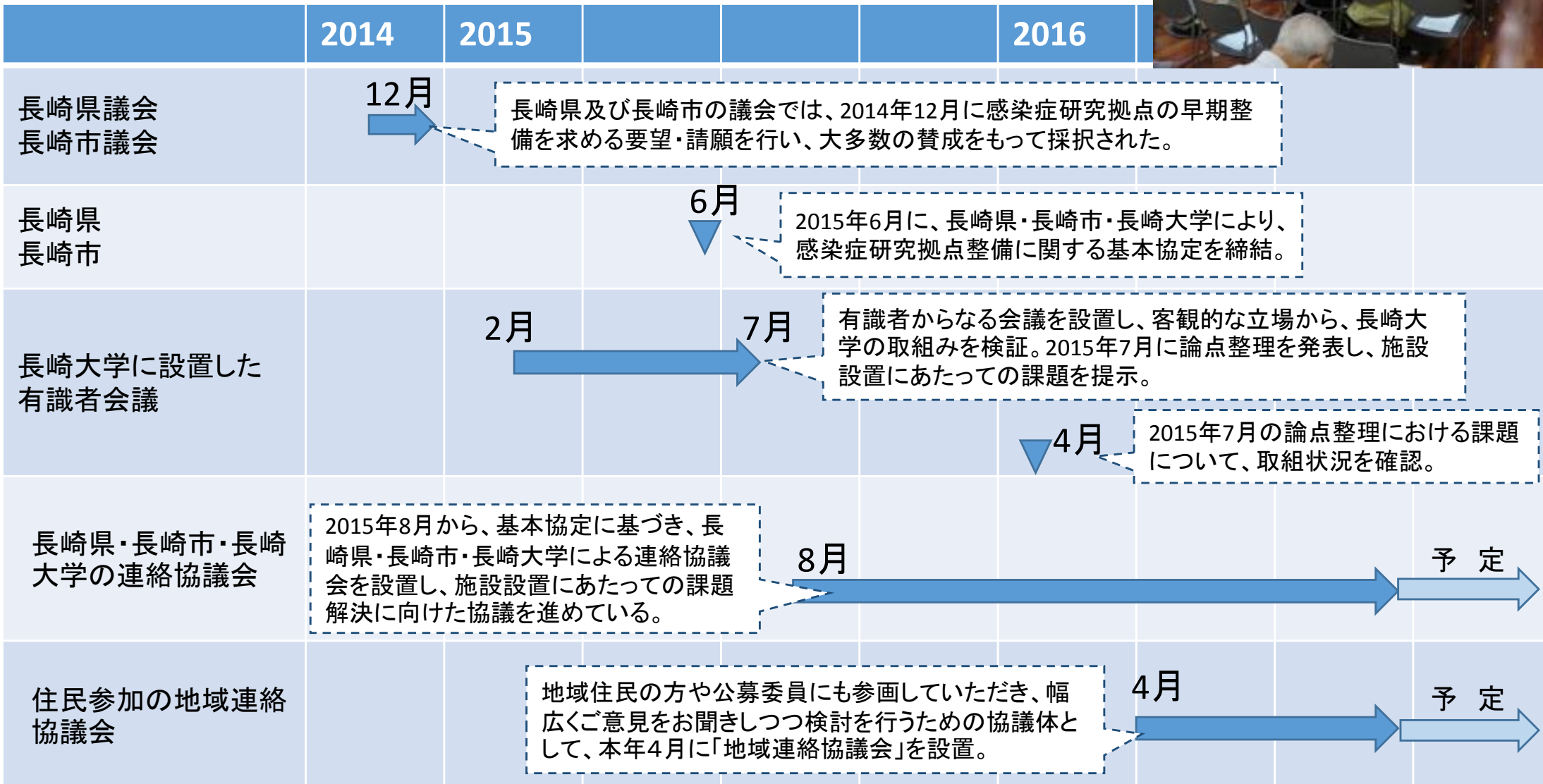
3. 長崎県、長崎市との感染症研究拠点に関する基本協定締結

- 2015年 6月17日 3者が、協力して感染症対策を推進するとともに、住民理解に対する万全の対応を図りながら、長崎大学における世界に貢献できる感染症研究拠点の整備を推進することを目的に、基本協定を締結



地域社会との共生に向けた取組み

- 施設設置予定地となる長崎市において35回を超える感染症に係る公開講座のほか、住民説明会を70回開催するなど、地域住民に我々の取組みを知っていただくとともに、その声をお聞かせしていただきたく活動を続けている（平成28年9月5日現在）。
- 長崎の議会、行政などとも協議を図っているところ。



長崎大学高度安全実験(BSL-4)施設に関する有識者会議

・長崎大学が進めてきたBSL4施設の設置計画について、客観的な立場から、長崎大学の基本的考え方などを検証し、その計画の具体化に当たっての課題を議論。

加藤史子 じゃらんリサーチセンター 主席研究員
西條政幸 国立感染症研究所 ウイルス第一部長
滝 順一 日本経済新聞社 論説委員
寺島実郎 多摩大学学長
朝長万左男 日赤長崎原爆病院 名誉院長
濱田篤郎 東京医科大学病院渡航者医療センター教授
福崎博孝 弁護士(議長)
蒔本 恭 長崎県医師会長
宮崎辰弥 日本労働組合総連合会 長崎県連合会
事務局長
山下 肇 弁護士
吉田茂視 長崎商工会議所 副会頭

第1回：平成27年2月
会議の概要について
第2回：平成27年4月
BSL4施設の必要性・安全性について
第3回：平成27年5月
BSL4施設の設置場所、情報開示・運営体制
第4回：平成27年6月
地域と共生するBSL-4施設の設置運営
第5回：平成27年7月
論点整理、その説明のあり方等

○有識者会議で残された課題

- 1 国の関与のあり方
- 2 施設の設置運営に伴い第三者に被害が発生した場合の補償対応
- 3 ヒューマンエラー対策やテロ対策を含む安全確保
- 4 地域との共生

※ 長崎大学高度安全実験(BSL-4)施設に関する有識者会議
「これまでの議論を振り返って(論点整理)」(平成27年7月公表)より

※ 第6回(平成28年4月)では、上記の課題における大学の取組み状況を確認した。

長崎県・長崎市・長崎大学の3者による連絡協議会

- ・ 昨年6月に締結した基本協定に基づいて、長崎県、長崎市、長崎大学の3者で、昨年8月26日に連絡協議会を設置。施設設置にあたっての課題の明確化等について協議。

① 設置の趣旨

昨年6月17日に締結した基本協定に基づき、課題の明確化とその対応等について協議するため、感染症研究拠点整備に関する連絡協議会を設置。

② 連絡協議会の構成員

- (1) 長崎県福祉保健部長
- (2) 長崎市企画財政部長
- (3) 長崎市市民健康部長
- (4) 長崎大学長が指名する学長特別補佐
- (5) 長崎大学熱帯医学研究所長

③ 協議事項

- (1) 安全・安心の確保及び住民理解の促進に関すること
- (2) 施設の設置場所に関すること
- (3) 国の関与のあり方に関すること
- (4) その他施設設置及び管理運営に関し必要と認める事項

④ 開催実績

	8月26日	第1回 施設の設置場所について①
10月21日	第2回	施設の設置場所について②
11月20日	第3回	施設における安全確保の方策①
12月21日	第4回	施設における安全確保の方策②
2月18日	第5回	国の基本計画の説明／安全確保の方策③／国の関与／地域住民参加の協議会①
3月22日	第6回	地域住民参加の協議会②
4月26日	第7回	地域住民参加の協議会③

地域連絡協議会について

① 目的

長崎県、長崎市及び長崎大学の3者連絡協議会において、地域住民の方々も交えた地域連絡協議会を設置し、BSL-4施設の検討状況に関する情報を地域住民の皆様へ提供するとともに、地域住民の皆様の安全・安心の確保等について協議している。

② 構成

- ・ 近隣連合自治会長・自治会長(7名)、その他地域住民等(公募委員4名を含む6名)、学識経験者・専門家(7名)、長崎県・長崎市(3名)、長崎大学(3名)の合計26名。
- ・ 4月1日～14日の期間で委員の公募を行い、応募があった6名から、4名を公募委員として選考。

③ 開催実績

開催日		主な議題
5月12日	第1回	BSL-4施設設置計画
6月 2日	第2回	ウイルスの特徴、立地の地価等
6月30日	第3回	施設の安全対策、施設のリスク対策等
7月13日	第4回	国の関与、立地の安全性等
7月24～29日		熱研BSL-3施設の見学
8月 3日	第5回	委員からの質問・意見①
8月31日	第6回	委員からの質問・意見②
9月 9日		国立感染症研究所の視察
9月27日	第7回	委員からの質問・意見③

坂本キャンパス周辺の連合自治会・自治会



感染症研究体制推進プロジェクト



平成28年2月に総理が主宰する関係閣僚会議において本プロジェクトを重点課題とすることを決定。

○最新設備を備え、安全性の確保に最大限配慮したBSL4施設を中核とした感染症研究拠点の形成について、**長崎大学の検討・調整状況等も踏まえつつ**必要な支援を行うなどにより、基礎研究能力の向上、危険性の高い病原体等の取扱いに精通した人材の育成・確保、医薬品創出のための研究開発の促進等を図る。

感染症研究機能強化に向けたネットワークの構築

協議会の設置

内閣官房に関係省庁・自治体・大学等で構成される協議会を設置し、支援方策等を検討・推進

- BSL4施設の具体的な活用方策等（感染症に関する基礎研究・人材育成、医薬品創出のための研究開発等や、そのためのネットワークや連携・協力の在り方）
- BSL4施設の機能及び運営方法等の在り方

関係省庁等
文部科学省、厚生労働省等

国立感染症研究所

・BSL4施設整備・運営支援
・研究、人材育成等の推進

・試験検査、予防及び治療等に係る機能推進
・BSL4施設の運営管理等に必要な人材の育成

産学官が連携し、
感染症に備える

・医薬品創出のための
研究開発

・感染症に関する研究・
人材育成

高度安全実験
(BSL4)施設

大学・研究機関等

- ・一類感染症の病原体等に係る基礎研究の実施・推進
- ・治療薬・診断薬・ワクチンの開発
- ・危険性の高い病原体等の取扱いに精通した人材の育成・確保

住民の方々や団体への説明会について(最近の例)

自治会説明会

- ・ 本尾町自治会 (7月9日)
- ・ 江平自治会 (9月28日)
- ・ 平和町自治会 (10月3日)
- ・ 家野町自治会 (予定)
- ・ 平野町山里自治会 (予定)

経済・観光業界向け説明会

- ・ 長崎国際観光コンベンション協会 (7月9日)
- ・ 長崎経済4団体 (10月3日)

(商工会議所・経済同友会・経営者協会・青年会議所)

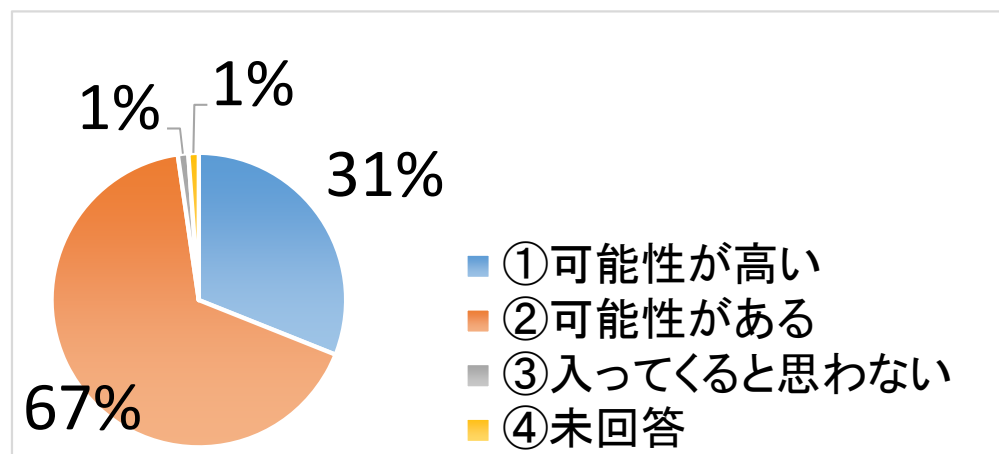
子育て関係向け説明会

- ・ P T A 連合会正副会長会議 (8月16日)
- ・ 熱帯医学ミュージアム見学会 (7月18日・25日、8月9日・26日)

医療関係向け説明会

- ・ 長崎県看護協会 (8月6日)
- ・ 長崎県医師会 (9月8日)
- ・ 長崎市医師会 (9月8日)
- ・ 長崎県歯科医師会 (9月23日)
- ・ 長崎市薬剤師会 (9月26日)
- ・ 長崎県薬剤師会 (10月2日)
- ・ 長崎市歯科医師会 (10月4日)

医療関係者87人にお聞きした
エボラウイルスが長崎に入る可能性



長崎大学が取り組んでいる基本構想の作成



我が国有数の感染症研究機関との検討

主要設備に関わる技術的見地からの検討



監視カメラ



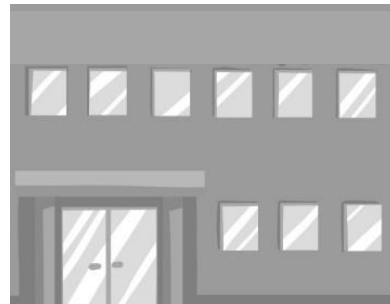
インターロック制御された高気密扉



高圧蒸気滅菌処理設備



中央監視



BSL-4施設の基本的なコンセプト
= 基本構想の作成

将来的な予定

施設の設計・組織体制の整備

施設の建設・安全性の検証

研究内容を情報公開し、
地域に開かれた施設の運営

住民の声を聞きながら推進



市民目線の安全対策の検討

諸外国の BSL-4 施設の情報収集



21世紀における長崎のグローバル化を 支える感染症研究拠点を目指して

- * 国際観光都市を目指す長崎にとって、BSL-4施設は感染症克服への貢献を通じて長崎のプレゼンスを高める「矛」となり、また、感染症の脅威から長崎を守る「盾」となります。
- * 長崎大学は、40年以上にわたり世界各地で安全に運営されてきた叡智を吸収しながらBSL-4施設を活用し、21世紀の長崎を支えていきたいと考えています。